



笑顔あふれる 雪上バレーボール大会

2月4日、アミニティ倶楽部ハウスグラウンドで雪上バレーボール大会が行われました。これは、雪を楽しむイベントとして花輪市民センターが毎年開催しています。選手らは足を取られながらも懸命にボールを追ひ、雪に飛び込むフライングレシーブなどで会場を沸かせました。



真冬の水ごり 土深井裸まいり

十和田末広地区の土深井集落に伝わる「土深井裸まいり（市指定無形民俗文化財）」が2月18日、自治会館前や神社で肅然と行われました。

「土深井裸まいり」は、江戸時代初期の寛文年間から受け継がれている伝統行事です。裸にふんどし姿の男衆は、冷たい沢水をかぶつ



て身を清め、早朝からワラを丹念により上げて作った大きなしめ縄を稲荷神社の鳥居に奉納し、五穀豊穡、無病息災、交通安全などを祈りました。



歴史民俗資料館

鹿角の歴史を小学生が学ぶ

2月14日、花輪小学校児童が社会の授業の一環として歴史民俗資料館を見学しました。この日は特別展「鉾山を支えた人々の生活」が行われており、写真を見た児童らは「このトロコに乗ったことあるよ」「この場所行ったことがある」などと話しながら、昭和30年頃の鹿角を学びました。この特別展は3月18日までとなっています。この機会に当時の暮らしがうかがえる貴重な写真をぜひご覧ください。



鬼をやっつける

十和田地区豆まきパレード

育んでくれた町への恩返しに豆まきをして地域を巡る、十和田地区後厄実行委員会主催の「豆まきパレード」が2月4日～5日、十和田地区で行われました。5日に訪問した毛馬内保育園では、鬼の登場に園児らは驚きながらも、「鬼は外」の掛け声も元気いっぱい、豆に模したボールを投げつけて節分行事を楽しんでいました。



道の駅おおゆ 登録証が伝達される

4月にオープン予定の道の駅おおゆは、昨年11月に「道の駅」として登録されましたが、その登録証が本市に届き、1月26日に市役所で伝達式が行われました。伝達式には指定管理者となったノリット・ジャポン株式会社の菅原代表取締役も同席しました。同社は「恋する鹿角新聞」を手掛けており、鹿角ならではのサービス提供による魅力発信が期待されます。

道の駅「おおゆ」登録証伝達式



学用品を次の世代へ 制服・カバンのリユース事業

学用品のリユースを進めるため、昨年12月に使わなくなった制服やカバンを募集したところ、約140点もの品が集まりました。2月4日、福祉保健センターに集めた制服などを提供する会場を設けたところ、約70人が訪れ、反響の大きさがうかがえました。来場者は制服のサイズを確認し、体に合わせるなど、前の世代からの贈り物を手に取っていました。

